

この子たちの命を救いたい

死んでいく子供を目の前に、カメラで映すことより、手をさしのべることを選んだ——



CHANNEL FOUR FILMS AND MIRAMAX FILMS PRESENT A DRAGON PICTURES PRODUCTION STEPHEN DILLANE WOODY HARRELSON
MARISA TOMEI EMIRA NUSEVIC KERRY FOX GORAN VISNJIC JAMES NESETT AND EMILY LLOYD CASTING SIMONE IRELAND &
VANESSA PEREIRA ORIGINAL MUSIC ADRIAN JOHNSTON COSTUME DESIGNER JANTY WATTS PRODUCTION DESIGNER MARK GARAGHTY EDITOR
TREVOR WAITE DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY DAF HOBSON SCREENPLAY FRANK COTTRELL BOYCE BASED ON THE BOOK "NATASHA'S STORY"
BY MICHAEL NICHOLSON PRODUCED BY GRAHAM BROADBENT & DAMIAN JONES DIRECTED BY MICHAEL WINTERBOTTOM
© CHANNEL FOUR TELEVISION CORPORATION AND MIRAMAX FILM CORP. 1997

WELCOME TO SARAJEVO

ウェルカムトゥサラエボ

※'97カンヌ国際映画祭正式出品作品

マイケル・ウィンターボトム監督作品 スティーブン・ディレーン「ハムレット」/ウディ・ハレルソン「ナチュラル・ボーン・キラーズ」/マリサ・トメイ「この子たち」

1997年、イギリス映画「ドゥビエーSRD」/製作:マイケル・ニコルソン(南山出版社刊)/セントラ・メディアEM
●原:アスミック・エース エンターテインメント ●配給:アスミック・エース

真実のドラマだけが伝えられる熱い感動!!

イギリス映画界を代表する ウィンターボトム監督の最高傑作!

「バタフライ・キス」「GO NOW」「日蔭のふたり」

キャスト●ステイブン・ディレーン「ハムレット」/ウディ・ハレルソン「ナチュール・ボーン・キラーズ」/マリサ・トメイ「いとこのヒーロー」
ケリー・フォックス「シャロウ・グレイブ」/エミリー・ロイド「あなたがいいたら」/少女リンダ

ウェルカム・トゥ・サラエボ

※'97カンヌ国際映画祭正式出品作品



感動と涙が世界を包み込んだ

戦火のサラエボ。日々、町の人々が何の意味もなく血を流し、子供たちが殺されていく狂気の街。この惨状を目の当たりにしたイギリス人ジャーナリストは、それをカメラで写すことより、ひとつの命を救うことを選んだ……。

元氣なイギリス映画界の中でも、突出した演出力と実績で知られるマイケル・ウィンターボトム監督が、とうとうやっ!人間として、表現者として見過ごすことのできない深いテーマ。イギリスのテレビ記者が自らの体験をつづった小説を映画化したこの映画は、97年のカンヌ映画祭に正式出品され、批評家たちに熱い拍手で迎えられた。そして今、「シンドラーのリスト」以来の感動——という圧倒的な賛辞が、心を打つせない思いとともに世界中を駆けめぐっている。

この子たちのためにできることは?

イギリスのテレビ局ITNのジャーナリスト、マイケルは、砲弾の飛び交うサラエボの町で孤児エミラと出会った。マイケルは子供たちを避難させるよう訴えるフィルムを撮り続ける。しかし、何人もの人間が狙撃され、血まみれで息絶えても、ロンドンのトップ・ニュースはヨーク公の離婚話。“世界”にとってサラエボは“14番目に危険な国”にすぎなかった。首脳たちがコメントを発表するだけで、対応の鈍い西欧諸国。毎日、空の輸送機を飛ばしている国連……。何かをしたい!この子たちのために!マイケルはエミラをこの国から脱出させる決意をし、自らの養女として迎え入れる。

サラエボで何が起ったか

この映画は実話を元にしていて、イギリスの記者マイケル・ニコルソンの著書には、われわれが他人事と見過ごし、鈍感になっている戦争の物語がつづられていた。それはサラエボの人々に何が起ったのかを教えてくれるとともに、あらゆる戦争の無意味さに気づかせてくれた。監督のウィンターボトムは、「ボスニアについての映画、ヨーロッパに何が起きたかを考える映画が作れる」ことに惹かれたという。同じヨーロッパで戦争が起り、それを毎日見ているのに、何もしようとしない人々。その無力感からマイケル・ニコルソンが行き着いた行動、同時に彼のジャーナリストとしての功績にウィンターボトムはスポットを当てる。

鋭いウィンターボトム監督最高の、力強い、心揺さぶるエンタテインメント

これまで「バタフライ・キス」「GO NOW」「日蔭のふたり」と、発表する作品すべてが世界的に高い評価を得、37歳の若さでイギリス映画界を代表する監督となったウィンターボトム。作品ごとにテーマに合わせてまったく違うスタイルを見出してきた彼だが、その底流にはいつも知的な見識があり、人間を見つめる優しい視線があった。彼自身の心優しさは、映画の主人公マイケルの心と通じ合い、見事に胸を揺さぶる感動となって結実した。これまでにない大きなテーマと切実なモチーフが作品にもたらしたスケール感。アートとしてだけでなく、映画というエンタテインメントとして見せざる力強い演出は、大作の風格さえ漂わせる。ジャーナリスト的なビデオ映像を含め、手持ちで走り回る躍動的なカメラ、実際のニュース映像も挿入して緊張感を高める秀逸なカットング、地獄の悪夢を体験したもだけがほつりともらずブラックなユーモア……。臨場感あふれる映像に、彼は人々の感情をいかにすくいと取って重ねていく。甘いセンチメンタリズムに陥ることなく、人々の良心のあり方を素直に差し出す。これは、サラエボの状況を追求しようとするジャーナリストや外国人を描いた初めての映画。サラエボとその魂の賛歌なのである。

テーマに賛同して結集した豪華キャスト

この映画の趣旨に賛同して集まった俳優たちの顔ぶれもすごい。主人公のジャーナリスト、マイケルにはフランコ・ゼヴィレリ監督の「ハムレット」に出演していたステイブン・ディレーン。単なる目立ちたがり屋でなく、ボスニア語を学んで状況に浸透しようとするアメリカの記者フリに「ラリー・フロント」のウディ・ハレルソン。「いとこのビニー」でアカデミー助演女優賞に輝いたマリサ・トメイ、「シャロウ・グレイブ」のケリー・フォックス、そして地元の俳優たちが印象的な演技を見せている。



マッシヴ・アタック、ブラーなど超人気ミュージシャンが参加

製作はマイク・リー監督の「ハイ・ホープス」などで知られるグラハム・ブロードベントと、「グリッド・ロック」を手がけたダミアン・ジョーンズ。脚本のフランク・コレル・ボイス、撮影のダフ・ホブソン、編集のトレバー・ウェイト、衣装デザイナーのジャンティ・エイツら、いずれもこれまでウィンターボトムの作品に関わってきた有能なスタッフが彼の仕事を支えている。また、マッシヴ・アタック、ブラーなど全17曲の音楽もファン垂涎のもの。

なお、撮影はボスニアの文化庁と地元の映画グループ、サガに脚本を提出した上、国連軍事部の協力で、サラエボでのロケーションが許可された。96年夏にボスニア、クロアチア、マケドニア、ロンドンで10週間かけて行われ、がれきとなったサラエボの街が生々しくカメラに捉えられた。

ちなみに、マイケルがサラエボから救い出したナタシャは現在16歳。彼の家族とともに幸せに暮らし、出国後一度もサラエボには戻っていない。

●1997年/イギリス映画/シネマスコープ/ドルビー-SRD/1時間45分/原作 マイケル・ニコルソン著(青山出版社刊)/サントラ:東芝EMI ●提供:アスミック・エース エンタテインメント ●記録:アスミック

9/12 9月上旬よりロードショー!

(上映日程は劇場に)お問合せ下さい。

サラエボの孤児にミルクを送ろう!

チャリティ鑑賞券 1800円(税込) 限定発売中

(劇場窓口でのみ販売しています)

このチャリティチケット(1800円)の収益の25%の450円は、難民を助ける会に寄付され、サラエボの戦争孤児のミルク代になります。

梅田スカイビルタワーイースト4F 06(440)5977

梅田 ガーデンシネマ

(土日祝のみ 10:10 | 12:20 | 2:30 | 4:30 | 6:50)

前売一般券 ¥1500も発売中 <入替制>